

口腔(コウコウ)口からのどまでの間の口の中の空間。 [例] 口腔衛生(医学では“コウクウ”と読む)

膏肓(コウコウ)内臓の奥深い所。「^{やまい}病膏肓に入る」は容易に直らない重病になったことを言うことば。また、物事に夢中になっている者をひやかして言うときに用いる。“コウモウ(盲)”と誤りやすい。

較差(コウサ)最高と最低との差。“カクサ”は慣用読み。

鋼索(コウサク)鋼(はがね)の針金をより合わせて作ったなわ。ワイヤロープ。

強奪(ゴウダツ)暴力で無理やりに奪い取ること。

拘泥(コウデイ)こだわること。

更迭(コウテツ)その役目の人が変わること。また、人を変えること。

後図(コウト)あとあとのための計画。

攪拌(コウハン)かきまわすこと。多く“カクハン”と読まれている。

毫末(ゴウマツ)毛の末端。わずかなことを言う。 [例] 毫末の疑いもない

劫掠(ゴウリヤク)おどしかすめること。

五蘊(ゴウン)人間を成り立たせている五つの要素。色・受・想・行・識を言う。

極悪(ゴクアク)このうえなく悪いこと。

虚空(コクウ)何もない空間。大空。

極月(ゴクゲツ)陰暦十二月の呼び名。

呱呱(ココ)赤子の“おぎゃあ”という泣き声。

生まれることを「呱呱の声を上げる」と言う。

居士(コジ)僧にならず、家にいて仏弟子として修業する男子のこと。

固執(コシュウ)自分の意見をどこまでも主張し続けること。“コシツ”とも読む。

鼓吹(コスイ)意見などを盛んに主張して、相手に吹き込むこと。

克己(コッキ)自己に克(勝)つという意味で、欲望や邪念を押えること。

誤謬(ゴビユウ)謬も誤り。

小兵(コヒョウ)からだの小さいこと。

勤行(ゴンギョウ)仏前に読経や回向をすること。